

観世音寺宝蔵一目の前にある壮観な仏教美術品

観世音寺の宝蔵は、稀少で壮観な仏像のコレクションを収めています。高くそびえ立つ像から小さな菩薩像まで、訪問者はこれらの像の完璧な細部と精巧な芸術性を間近で見ることができます。

日本では、文化的に重要な像を展示ケースなしで近くで見るとは稀です。寺や神社の像は遠くからでしか見ることができないことが多いのです。作品によっては非常に不定期に展示されたり、全く展示されないこともあります。観世音寺の宝蔵では、これらの重要文化財の真正面に立って、細部まで精巧な技巧を楽しむことができます。

16体の仏像は、十一面観音菩薩から、剣を持った5メートル以上の高さの不空絹索観音の巨大な像まで、さまざまです。他にも、仏教の護衛を務める恐ろしい四天王の描写があります。

それぞれの作品の英語の説明は、各仏教の神が演じる役割をより深く理解し、彫刻や装飾についての興味深い点を強調しています。

観世音寺は、かつて九州を代表する仏教寺院でした。かつては広大だったこの複合施設には、多くの建物と華麗な塔がありました。現在、創建当初の建物は残っていないが、静かで緑豊かな境内と美しい建物、ドラマチックな宝蔵が人気を集めています。